

令和5年度 主要事業説明書

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
22	1	1	1	1	1001 議会費	議会事務局	72,721	72,055	0	666	0	0	0	0	72,055	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例に基づき、議会報告会を6地区で実施。 ・定例会4回、臨時会4回 (R5. 1, R5. 5, R5. 7, R5. 11) ・常任委員会(総務・民生・広報広聴)72回、議運30回、特別委員会(同和・予算・決算)10回、全協46回 ・議会だより年4回発行
22	2	1	1	1	1003 一般管理費	総務課	222,324	219,429	0	2,895	0	0	0	62	219,367	<ul style="list-style-type: none"> ・総務課・会計課及び特別職のPerson費、庁舎警備員・運転手報酬、電算事務委託料、部落世話人報酬等の支払いを行った。 【不用額の主なもの】 ・会計年度任用職員期末手当、共済組合負担金、旅費、通信運搬費の実績による残。
23	2	1	2	1	1005 財政管理費	総務課	8,489	8,487	0	2	0	0	0	0	8,487	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システム及び起債管理システムの適切な維持管理を行った。 ・財務諸表作成支援委託及び固定資産台帳管理を行った。
23	2	1	3	1	1006 会計管理費	総務課	2,828	2,594	0	234	0	0	0	0	2,594	<ul style="list-style-type: none"> ・公金取扱業務、ファームバンク取扱業務を行った。
23	2	1	4	1	1007 財産管理費	総務課	38,546	37,575	0	971	0	0	0	2,620	34,955	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員2名雇用し、庁舎・町有施設の維持管理・修繕、事務執行に必要な消耗品等を購入し、管理した。 ・隣保館横町有地の舗装工事を実施した。
23	2	1	4	1	2029 公共施設管理事業	教育課	1,639	1,560	0	79	0	0	0	0	1,560	<ul style="list-style-type: none"> ・旧土師小学校の施設管理を行い、安全な環境を維持した。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
23	2	1	5	1	1008 文書広報費	企画課	4,796	4,777	0	19	0	326	0	33	4,418	・ 広報ちづの発行による行政情報やまちの話題を周知し、町政に対する町民の理解と協力の推進に寄与した。また、インターネット上でも町広報誌を閲覧できる場を設けている。紙面のレイアウトについても随時検討を重ね、今後も見やすい広報になるよう改善を続けていく。また、内製化によるコスト削減、町民ならではの視点による紙面作成を検討する。
24	2	1	6	1	1011 まちづくり事務費	企画課	52,411	51,765	0	646	0	0	0	1,259	50,506	・ 主に、まちづくりの事務費に関する費用であり、東部広域行政管理組合や各種団体への負担金である。
24	2	1	6	1	1399 水力発電周辺地域整備事業	企画課	5,614	5,575	0	39	4,328	0	0	826	421	・ 該当地域に対し、当該補助事業による施設整備を実施することで、事業実施への理解を深めると共に、住民の要望に沿った施設整備を実施できた。 ・ 空調整備事業：郷原、芦津集落 ・ 簡易水道施設修繕事業：大呂集落
24	2	1	6	1	1517 行政情報システム推進費	総務課	44,919	34,956	9,343	620	5,494	0	0	38	29,424	・ 内部情報システムの適切な保守管理を行った。 ・ ICT共同化連携協約に基づく負担金を支払った。 ・ 職員用PC等のリース料を支払った。 【繰越額の主なもの】 ・ 光ネットワーク機器更改委託料、メールサーバー更改備品購入費

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
24	2	1	6	1	1741 移住定住促進事業	企画課	178,604	117,705	50,000	10,899	745	4,151	60,800	15,864	36,145	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修費補助や家賃助成、片付け補助等を行い移住定住の促進を図った。 ・子育て世帯を対象にした定住促進住宅3棟を建設し、定住促進に寄与した。 【繰越額の主なもの】 ・平野邸リノベーションにかかる補助金を翌年度へ繰り越したことによるもの。 【不用額の主なもの】 ・事業実績による工事請負費の残。 ・リフォーム助成事業、空き家改修補助事業の実績減による補助金の残。
24	2	1	6	1	1879 地域情報化推進事業	企画課	92,716	91,403	0	1,313	0	0	7,000	19,896	64,507	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に布設している光ケーブルの保守、各世帯に設置している告知端末の維持管理に努めた。 ・新IP告知端末を活用し、AI乗合タクシーアプリの外部連携による本格実装を始め、様々な住民サービスを提供している。 ・デジタル健康脳測定会を開催し、脳年齢・身体機能測定の見える化や得られたデータの集計・解析のほか、デジタルコンテンツの配信等を通じて、町民の健康意識の増進に寄与した。
24	2	1	6	1	1895 百人委員会費	企画課	6,040	4,610	0	1,430	0	0	0	4,609	1	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、各部会の活動が少しずつ活発化してきた。しかしながら、部員の減による活動の停滞や活動の見直しを行う部会などもあり、以前のような勢力的な活動が見られない状況にある。 ・今後活動しやすい体制づくりや、住民自治活動の魅力発進などを行い、活性化を図っていく必要がある。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
24	2	1	6	1	1928 日本で最も美しい村連合推進事業	企画課	3,731	3,715	0	16	0	0	0	990	2,725	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい村連合に加盟している町村が、地域の魅力を発信し、農山漁村の現状について世論の認識を促すことにより地域資源の保護及び地域経済発展に寄与している。 ・広域連携SDGsモデル事業におけるNFTプラットフォームを活用して、地域イベントのNFT発行など、地域の魅力発進につなげた。
24	2	1	6	1	1941 太陽光発電システム等導入推進事業	企画課	180	180	0	0	0	90	0	0	90	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの活用推進に寄与出来るよう、蓄電池に関する補助制度も創設したものの、前年度同様利用実績がない状況である。 ・太陽光については、売電価格低迷が続いていることもあり1件のみの交付となった。
24	2	1	6	1	2030 まちづくり支援事業	企画課	2,215	2,209	0	6	0	0	0	2,170	39	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した協働によるまちづくりの推進に向けた活動を実施する団体を支援することにより、地域活動の振興に貢献している。 ・R5年度は、五月田集落振興協議会によるイベント観覧席整備を始め、各種団体による林業シンポジウム開催、智頭駅開業100周年記念イベント運営について支援を行い、地域活性化に寄与した。
24	2	1	6	1	2032 地方創生推進事業	企画課	10,624	8,524	0	2,100	2,901	0	0	0	5,623	<ul style="list-style-type: none"> ・電子地域通貨「まちのコイン」を活用し、てごガチャイベントの開催など、多世代の交流促進を始め、新たな関係人口の創出に寄与した。 ・町内企業等に対し、外部人材などの積極的な活用を呼び掛け、コミュニティビジネスの創出を図るとともに稼ぐチカラを養うための知見やノウハウを得る機会を提供した。 <p>【不用額の主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部人材活用支援事業補助金の実績による残。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
24	2	1	6	2	1517(繰越明許)行政情報システム推進費	総務課	31,460	31,459	0	1	0	0	0	0	31,459	・R4年度からの繰越事業であるネットワーク強化(αモデル)移行事業を実施・完了した。 ・市内ネットワーク環境がLGWAN系に移行し、セキュリティが強化された。
24	2	1	7	1	1016交通安全対策事業	総務課	2,681	2,560	0	121	0	0	0	0	2,560	・通学路点検実施、交通安全週間期間中に高齢者宅訪問を実施。R5年度智頭町内での交通死亡事故発生無し。
24	2	1	8	1	1482日本1/0村おこし運動	企画課	14,025	12,902	0	1,123	0	0	0	0	12,902	・5地区での活動が地域の活力となり本町の活性化につながっている。各地区振興協議会の事務局職員に集落支援員を配置することで、地区活動の推進に貢献している。それぞれの地区が自立し、活動に取り組んでいる。
24	2	1	8	1	1951疎開保険事業	企画課	2,499	2,101	0	398	0	0	0	742	1,359	・R5年度は67口・131名の加入があり、前年度より増加の実績となった。(前年度実績：58口・104人) ・昨年度からスタートした疎開保険体験ツアーを通じて、森林セラピーや民泊体験など、智頭町ならではの取り組みが好評を博し、加入率向上につながったものと思われる。 ・保険加入定着率向上に向け、新たな特産品(返礼品)の選定など、地域の魅力発進に向け引き続き邁進していく必要がある。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
24	2	1	8	1	1966 空き校舎等利活用推進事業	企画課	21,136	20,787	0	349	0	0	0	4,251	16,536	<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎利活用実践事業により山形地区では施設の雨漏り修繕を行い、施設の維持管理に努めた。また、富沢地区ではコミュニティセンター駐車場の照明設備導入等を実施し、利用者の利便性向上並びに駐車場利用時の安全確保に寄与した。 ・旧小学校（山形・那岐・山郷）及びコミュニティセンター（富沢）の指定管理者制度を活用し、各地区の地域経営に向けた取組を進めている。
24	2	1	8	1	2008 智頭農林高校協働連携事業	企画課	2,154	1,698	0	456	0	0	0	0	1,698	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭農林高校の魅力化拠点施設（ベースコネクト）を活用し、生徒たちの居場所づくりや魅力向上に努めた。今後は、県外生の受け入れ体制として学生寮整備及び運営支援を行い、地域と連携した受け入れ体制の充実並びに更なる魅力発進に努めていく必要がある。 ・ちのりんショップの開催・運営により商店街の活性化や智頭農林高等学校の取り組みの周知に繋がっている。
24	2	1	8	1	2021 地域支援推進事業	企画課	1	1	0	0	0	0	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向け、住民が活動することへの支援を目的としている事業。 ・R5年度については基金利子のみの予算計上となっている。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
24	2	1	8	1	2086 おせっかい奨学 パッケージ推進 事業	企画課	4,534	4,270	0	264	0	0	0	3,593	677	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊おせっかい（智頭町情報誌面）の発行や定期的な情報共有による情報発信を通じて、メンターと奨学生の関係性を築いている。 ・本町での交流事業は実施できなかったものの、おせっかい川柳やおせっかい協賛企業募集事業など町民や町内企業になじみやすい取組みを継続して進めている。 ・奨学金償還補助を行うことで、在学生の就学支援並びに卒業生の故郷の活性化を担う人材育成等に貢献した。 ・奨学生は現在78名登録。
25	2	1	8	2	1966(繰越明許) 空き校舎等利活用 推進事業	企画課	57,261	55,446	0	1,815	0	0	50,400	0	5,046	<ul style="list-style-type: none"> ・旧那岐小学校改修工事二期工事が完了。
25	2	1	9	1	1634 共助交通運行事業	企画課	78,046	67,460	0	10,586	0	29,888	0	0	37,572	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の日常生活を支える新たな交通手段として、生活交通の確保・住民福祉の向上に寄与している。また、本格運行開始以降、利用者及びドライバーも増加傾向にあり、安定的な送迎サービスを提供している。 ・今後「登録」、「予約」、「決済」を一元管理できるアプリ開発を検討し、更なる利便性向上に努めて行く。 ・地域の交通維持・確保策として共助交通が地域の方々に浸透するよう周知・啓発活動を行い、持続可能な交通を推進する。 <p>【不用額の主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上相殺分による委託料の減額。
25	2	1	9	1	1636 交通政策事務費	企画課	237	217	0	20	0	0	0	0	217	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進に向けたPR活動を実施するための協議会への負担金支払いが主な内容となっている。 ・各協議会への参加等を通じて、公共交通の利用促進及び利便性向上に努めている。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
25	2	1	10	1	1019 公平委員会費	総務課	17	17	0	0	0	0	0	0	17	・職員の勤務条件に関する措置要求等の審査を鳥取県人事委員会に委託して実施した。
25	2	1	11	1	1020 自衛官募集事務	総務課	29	18	0	11	15	0	0	0	3	・自衛官募集説明会を実施した。
25	2	1	11	1	1022 褒章事業（表彰式）	総務課	848	828	0	20	0	0	0	0	828	・町褒章条例に基づき、功労表彰8名・善行表彰16名・勤続表彰10名を表彰した。
25	2	1	11	1	1023 負担金等	総務課	886	526	0	360	0	0	0	0	526	・智頭警察署管内防犯協議会負担金、鳥取人権擁護委員協議会負担金等、各種負担金の支払いを行った。
25	2	1	11	1	1024 諸税等還付金	総務課	54,300	54,225	0	75	0	0	0	0	54,225	・諸税、過年度補助金等の還付を行った。
25	2	1	11	1	1902 消費者行政活性化事業	総務課	1,793	1,745	0	48	469	0	0	0	1,276	・弁護士によるくらしの相談会を開設した。（毎月1回 計12回） ・消費生活相談員による相談窓口を開設した。（毎週水曜日、相談件数21件）
26	2	1	12	1	1026 財政調整基金費	総務課	1,657	1,653	0	4	0	0	0	1,653	0	・利子分の積立てを行った。
26	2	1	13	1	1027 減債基金費	総務課	21	20	0	1	0	0	0	20	0	・利子分の積立てを行った。
26	2	1	14	1	1320 公共施設整備基金費	総務課	9	8	0	1	0	0	0	8	0	・利子分の積立てを行った。
26	2	1	15	1	1894 ふるさと基金費	総務課	14,985	8,569	0	6,416	0	0	0	8,569	0	・448件12,471,800円の寄附をいただいた。（前年度比138.8%） 【不用額の主なもの】 ・謝礼、送料等の実績による残。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
26	2	2	1	1	1028 税務総務費	税務住民課	56,534	56,022	0	512	0	0	0	0	56,022	・町税全般に係る事務費、主なものは、職員人件費と電算事務委託料。各種研修会に参加することにより、職員の資質向上と、組織力強化に努めた。 ・滞納対策を強化し収納率向上に努めた。
27	2	3	1	1	1031 戸籍住民基本台帳事務	税務住民課	36,283	26,938	8,825	520	2,984	0	0	3,576	20,378	・戸籍住民基本台帳事務全般に係る経費、主なものは、職員人件費、電算保守委託料および戸籍法一部改正に伴うシステム整備委託料。 【繰越額の主なもの】 ・マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等にかかるシステム整備委託料。
27	2	4	1	1	1035 選挙管理委員会費	総務課	513	509	0	4	0	0	0	0	509	・公正な選挙の執行及び事務を適正に実施した。 ・選挙管理委員会12回開催。
27	2	4	5	1	1039 鳥取県知事選挙費	総務課	3,462	3,432	0	30	0	3,432	0	0	0	・鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員一般選挙を令和5年4月9日に執行した。 ・投票率 知事 59.77%、県議 60.23%
28	2	5	1	1	1045 統計調査総務費	総務課	5,887	5,809	0	78	0	6	0	0	5,803	・統計事務に係る事務費（人件費）。 ・統計調査員の確保また資質向上を図った。
28	2	5	4	1	1049 人口統計調査費	総務課	15	11	0	4	0	10	0	0	1	・年齢別人口及び世帯数並びに出生者、死亡者、転入者、転出者等の移動状況を月ごとに把握するため人口統計調査を実施した。
28	2	5	5	1	1050 教育統計調査費	総務課	7	7	0	0	0	5	0	0	2	・学校に関する基本事項である学校数、在学者数、教員数等の状況を明らかにするため学校基本調査を実施した。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
28	2	5	7	1	1053 国勢調査費	総務課	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	・令和7年国勢調査に先立ち、ポータルサイトの試験運用に参加した。
28	2	5	9	1	1975 住宅・土地統計調査費	総務課	255	254	0	1	0	254	0	0	0	0	・令和5年住宅・土地統計調査を実施、完了した。
28	2	5	10	1	1055 農林業センサス	総務課	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	・2025年農林業センサスの実施に先立ち、市町村説明会へ参加した。
28	2	5	17	1	1887 経済センサス	総務課	6	6	0	0	0	5	0	0	0	1	・本調査の前段階として調査区の管理を実施した。
28	2	6	1	1	1056 監査委員費	議会事務局	1,105	1,037	0	68	0	0	0	0	0	1,037	・例月出納検査（会計課・水道・病院・簡易水道・公共下水・農業集落排水）を毎月実施。 ・決算審査10日（13件）、財政健全化審査等1日（6件） ・定期監査11日（16件） ・財政援助団体等の監査1日（2件）
29	3	1	1	1	1057 社会福祉総務費	福祉課	209,544	189,789	4,481	15,274	92,753	19,090	0	0	77,946	0	・民生児童委員協議会(32名)の活動費を補助し、資質向上を図ることにより、地域福祉活動に貢献したが、コロナ禍の活動への影響もあり実績減となった。 ・住民税非課税世帯給付金3万円を847世帯（事業全体額26,505千円）、7万円を870世帯（事業全体額61,615千円）に支給し、低所得世帯の生活の一助とした。 【不用額の主なもの】 ・住民税非課税世帯給付金について900世帯を見込んでいたため、計3,690千円（3万円×53件、7万円×30件）の不用額が生じた。 ・国保会計の事業量減のため繰越金に10,044千円不用額が生じた。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
29	3	1	1	1	1846 行旅人扶助費	税務住民課	11	1	0	10	0	0	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行旅人来庁 1名 【不用額の主なもの】 ・利用実績の減による扶助費の残。
29	3	1	2	1	1060 国民年金費	税務住民課	4,732	4,538	0	194	1,295	0	0	0	3,243	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金各種届出を受付し、日本年金機構に進達を行う事務費（主には職員費）。 ・年金ネットなどを活用して年金相談にも対応した。
29	3	1	3	1	1385 障害者福祉費	福祉課	278,921	268,816	0	10,105	132,771	66,385	0	0	69,660	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方の入院・通院に伴う費用の一部を負担する更生医療については延べ193名が利用しており負担額は1,648千円、育成医療は実績なし。 ・補装具については延べ11名に購入・修理の補助を行い、946千円の補助。 ・障がい福祉サービスの補助については延べ2,718名で262,260千円の補助を実施している。 【不用額の主なもの】 ・月にかかる医療費の変動や、障害福祉サービスの利用終了や新規利用等で見込通りに推移しない等実績による残。
29	3	1	3	1	1803 地域生活支援事業	福祉課	15,590	13,835	0	1,755	4,364	3,392	0	0	6,079	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活用具の給付。（R5年度支給件数：295件） ・自発的活動団体への補助。（手をつなぐ育成会、智頭町社会福祉協議会、八頭郡身体障害者福祉協会） ・智頭町社会福祉協議会への成年後見制度事業の委託（相談延べ755回）、成年後見制度利用支援事業の報酬費（延べ2名）、聴覚障がい者センターへの意思疎通支援事業の委託（派遣回数83回）
29	3	1	3	1	1935 特別障害者手当等支給事業	福祉課	2,676	2,529	0	147	1,913	0	0	0	616	<ul style="list-style-type: none"> ・特別障害者手当7名、障害児福祉手当1名支給。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
29	3	1	3	1	2099 重層的支援体制 整備事業	福祉課	6,030	5,947	0	83	836	0	0	0	5,111	・サマーハウスへの相談支援事業の委託 (R5年度相談件数：794件)及びサマー ハウス/聴覚障がい者協会への地域活動支 援センターの委託(R5年度利用実績：3 名)。(地域生活支援事業から重層的支 援体制整備事業へ申請対象移行)
30	3	1	4	1	1062 老人福祉費	福祉課	16,569	15,827	0	742	0	0	0	3,978	11,849	・8名の100歳以上高齢者に祝賀品を贈 呈、また敬老会委託料など高齢者に対す る元気支援を実施している。
30	3	1	4	1	1068 在宅福祉対策事 業費	福祉課	8,482	4,616	0	3,866	0	1,781	0	0	2,835	・高齢独居者の安全安心を確保するた め、電磁調理器等の購入経費を補助する 予定だったが、R5年度は実績0件。老人ク ラブ事業への補助、事業委託を通じた高 齢者の生きがいくりの支援。 ・R5年度母来寮短期入所4名・延39日利用 あり。 ・高齢者の住宅環境整備の支援、R5年度 は実績0件。 ・支え愛マップづくりを行う集落への補 助金。(R5年度：新規1集落、継続：0集 落) 【不用額の主なもの】 ・コロナ禍における老人クラブ事業の実 績による残。
30	3	1	4	1	1384 老人保護措置費	福祉課	16,120	15,196	0	924	0	0	0	3,978	11,218	・8名措置。(R6.3.31現在)
30	3	1	4	1	1584 介護保険特別会 計繰出金	福祉課	158,368	149,133	0	9,235	47,722	23,861	0	46,946	30,604	・介護保険事業特別会計への繰出。 【不用額の主なもの】 ・特別会計全体の事業費の減による繰出 金の実績減によるもの。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
30	3	1	4	1	1853 後期高齢者医療 事務事業	福祉課	166,814	163,147	0	3,667	0	26,226	0	0	136,921	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県後期高齢者医療広域連合一般負担金、後期高齢者医療特別会計繰出金。 【不用額の主なもの】 ・後期高齢者医療特別会計の事業実績による負担金の残。
30	3	1	4	1	1982 社会福祉法人軽 減助成事業	福祉課	1,084	312	0	772	0	233	0	0	79	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉施設に入所する低所得者を対象に利用料の負担を軽減。対象者11名。 【不用額の主なもの】 ・利用料実績の減による補助金の残。
30	3	1	4	1	2105 重層的支援体制 整備事業（介 護）	福祉課	41,528	38,891	0	2,637	13,089	6,544	0	12,711	6,547	<ul style="list-style-type: none"> 【総合相談事業費分】 ・高齢者を対象とした総合的な相談対応や関係機関との連絡調整等、地域包括支援センターの最重要事業。 ・総合相談受付6,628件、新規介護認定申請受付139件に対応。 【権利擁護事業費分】 ・高齢者虐待の通報・権利擁護に関する相談の対応（相談11名、対応55回）や消費者問題への対応、成年後見制度の利用支援、啓発。 【包括的・継続的ケアマネジメント事業費分】 ・サービス事業所研修会を6回開催、延62名参加。 【地域介護予防活動支援事業分】 ・森のミニデイ・集落ミニデイの運営やひとり暮らし高齢者の集いの開催に係る委託料と、各種健康教室（いきいき脳元気教室90回・延1,813名参加）の開催に係る経費を支出。 【生活支援体制整備事業分】 ・地域主体の取組支援や、地域と行政とのつなぎ役を果たす生活支援コーディネーターの配置（5名）に係る経費を支出。 【不用額の主なもの】 ・職員手当、報償費等の実績減によるもの。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
30	3	1	5	1	1069 特別医療費	福祉課	51,326	44,037	0	7,289	0	15,561	0	3,527	24,949	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害のある人や乳幼児などが、病院等で診療を受けたときの費用の全額又は一部を県及び町で助成することにより負担の軽減が図れた。 【不用額の主なもの】 ・特別医療助成費の実績減によるもの。
30	3	1	7	1	1070 老人福祉センター管理事業	福祉課	4,799	4,623	0	176	0	0	0	0	4,623	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人和の輪に指定管理委託(R3~R5)開館日数305日、利用者数延べ11,808名。
30	3	1	8	1	1071 同和対策事業	総務課	15,780	14,547	906	327	68	1,370	0	0	13,109	<ul style="list-style-type: none"> ・部落差別の解消を中心的課題とし、すべての人権問題の解決に向けた教育、啓発の推進を図った。
31	3	1	9	1	1073 隣保館運営費	隣保館	6,983	6,483	0	500	0	0	0	0	6,483	<ul style="list-style-type: none"> ・習字教室(48回)、文化教室(1回)を開催し、地域のコミュニティ施設として地域住民の社会福祉、生活安定を図り、人権意識の高揚に努めた。
31	3	1	9	1	1476 総合相談充実事業	隣保館	1,346	1,192	0	154	0	0	0	0	1,192	<ul style="list-style-type: none"> ・生活相談員が相談業務を行い、対象地域住民の社会福祉、生活などの相談対応に従事した。
31	3	2	1	1	1784 子育て推進事務	教育課	26,552	25,265	0	1,287	0	4,070	0	0	21,195	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅保育児給付12名。 ・高校生通学費補助94名。
31	3	2	1	1	1786 子育て支援センター	子育て支援センター	5,237	5,134	0	103	1,818	1,818	0	3	1,495	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅育児を行う家庭へ憩い場を提供し、保護者同士の交流を広げた。 ・年間利用者 延べ1,121人。
31	3	2	1	1	1861 放課後児童クラブ	教育課	12,283	12,019	0	264	1,921	2,975	0	1,291	5,832	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の居場所を確保し、保護者の就労を支援した。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
31	3	2	1	1	1979 森のようちえん 事業	教育課	10,866	10,792	0	74	4,027	2,013	0	0	4,752	・保育料軽減により、保護者の経済的負担を軽減した。 ・対象者数19名。
31	3	2	1	1	2083 子ども家庭福祉 事業	福祉課	8,090	7,539	0	551	0	6,290	0	0	1,249	・ショートステイの該当者は無し。 ・普及啓発物品 児童・生徒用にポケットティッシュ500部、保護者用にマスク600部を作成し、小・中学生、保育園、小学校、中学校の各家庭、乳幼児健診等で配布。 ・子どもの生活・学習支援事業すまいるを実施。月・水10時-15時開催 計56回開催235名が参加。
32	3	2	2	1	1080 保育園事務費	教育課	13,907	13,513	0	394	3,118	1,162	0	7,751	1,482	・智頭病院との協定に基づき、ほのぼの保育所への運営委託事務を行った。 ・利用者数5名(地域枠2名/事業所枠3名)。
32	3	2	2	1	2050 ちづ保育園事務 費	ちづ保育園	221,150	219,657	0	1,493	1,458	7,733	0	2,508	207,958	・保護者の就労を支援すると共に、園児の健やかな発達支援、心身育成と就学に向けた小学校との連携を行った。 ・通常保育のほか、延長保育、一時保育、病児病後児保育、障がい児保育を実施し、保護者の就労を支援した。
32	3	2	3	1	1936 児童扶養手当給 付事業	税務住民課	25,416	25,020	0	396	8,237	0	0	0	16,783	・ひとり親家庭の生活と児童の健全育成のための手当給付を行った。対象人数57名、うち給付者47名。
32	3	2	3	1	1084 母子父子福祉事 業	福祉課	100	10	0	90	0	5	0	0	5	・ひとり親家庭小学校中学校入学祝金1名該当あり。 【不用額の主なもの】 ・ひとり親家庭入学支度金利用実績の減によるもの。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
32	3	2	3	1	1948 母子父子生活支援事業	福祉課	7,309	5,769	0	1,540	2,711	1,355	0	0	1,703	・母子生活支援施設への保護措置。R5年度は1世帯2名が入所している。
32	3	2	3	1	2090 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	税務住民課	4,699	4,605	0	94	4,605	0	0	0	0	・物価高騰に直面し、影響を受けている低所得のひとり親子育て世帯に対する世帯生活支援給付金5万円の支援事業を行った。対象世帯53世帯、第2子以降38名。
32	3	2	5	1	1086 久志谷児童館費	久志谷児童館	17,718	17,146	0	572	0	0	0	0	17,146	・解放子ども会事業を主に行い、児童の健全育成、人権学習、仲間づくり、学力保障を図った。
32	3	2	5	1	1087 本折児童館費	本折児童館	12,310	11,792	0	518	0	0	0	0	11,792	・解放子ども会事業による、人権学習、仲間づくり、学力保障を図った。また、来館児童の健全育成、地区子ども会・母親クラブの支援を行った。
33	3	2	6	1	1857 児童手当給付事業	税務住民課	63,918	63,629	0	289	43,308	9,943	0	0	10,378	・0歳から中学生までの子どもす健やかに育てる手当給付を行った。支給対象252名。
33	3	2	6	1	2004 子育て世帯臨時特別給付金給付事業(生活支援)	税務住民課	4,297	3,891	0	406	3,891	0	0	0	0	・物価高騰に直面し、影響を受けている低所得の子育て世帯の児童一人に対して5万円の世帯生活支援給付金支援事業を行った。対象児童68名。
33	3	2	8	1	1977 障害児通所給付費等	福祉課	668	178	0	490	87	43	0	0	48	・智頭町在住者で放課後等デイサービスを利用される方1名の利用支援を行っている。 【不用額の主なもの】 利用実績減による扶助費の残。
33	3	3	1	1	1088 災害救助費	福祉課	804	726	0	78	0	24	0	0	702	・災害見舞金(1件)。 ・被災者住宅再建等支援基金負担金支払。 ・災害遺児手当金(1家庭2名分)。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
34	3	4	1	1	1946 生活保護総務費	福祉課	47,825	45,794	0	2,031	353	0	0	0	45,441	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護業務に携わる5名分の人件費、生活保護に係る事務経費等を適切に執行した。 生活保護システムバージョンアップを行い業務効率化につなげた。 【不用額の主なもの】 ネットワーク接続費用の減による委託料の残。 生保レセプト管理システム負担金の減による負担金の残。
34	3	4	1	1	2011 生活困窮者自立相談支援事業	福祉課	40,531	32,676	5,812	2,043	4,547	0	0	0	28,129	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立相談支援事業として相談支援を行った。相談12件。(うち計画作成3件。継続4件、他機関へ繋いだケース5件。) 重層的支援体制整備事業の中で多機関協働事業106件、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業18件・延べ65件、参加支援事業15件・延べ55件、地域づくり事業、3か所、8回行っている。 住民税均等割のみ課税世帯給付金1.5万円を196世帯、8.5万円を183世帯に支給し、低所得世帯の生活の一助とした。 【不用額の主なもの】 住民税均等割のみ課税世帯給付金実績の減による扶助費の残。
34	3	4	1	1	2024 被保護者及び生活困窮者就労準備支援事業	福祉課	1,120	1,085	0	35	807	0	0	0	278	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者就労支援(全7名)。新規4名、継続3名、うち終了3名。 被保護者就労支援(全3名)。新規2名、継続1名、うち終了1名。 延べ支援回数344回。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
34	3	4	1	1	2025 生活困窮者家計 改善支援事業	福祉課	1,200	1,200	0	0	800	0	0	0	400	・智頭町社会福祉協議会へ事業委託している。生活困窮者に対して自立支援を強化するため、家計改善(金銭管理含む)を委託した。R5年度10件のうち、新規対応3件、継続3件、廃止4件。年間実利用者数50名、相談対応119件。
34	3	4	1	1	2026 子どもの貧困対 策推進事業	福祉課	4,194	4,193	0	1	482	1,473	0	0	2,238	・学習支援をNPO法人はるひなに委託。年間で68日開催、参加児童延べ258名。 ・子ども食堂については、宗教法人極楽寺に委託。週1回、年間で48日開催。2,727食を提供。ボランティアによる学習支援や昔遊等を行った。
34	3	4	2	1	1947 生活保護扶助費	福祉課	71,299	57,471	0	13,828	44,410	4,496	0	368	8,197	・生活保護費の支給。 R4. 3月30世帯37名保護率5.66% R5. 3月25世帯30名保護率4.72% R6. 3月27世帯34名保護率5.45% 【不用額の主なもの】 ・実績減によるもの。
34	4	1	1	1	1089 保健衛生総務費	福祉課	12,629	12,454	0	175	0	0	3,000	121	9,333	・自治体病院開設者協議会負担金(47千円)。 ・休日急患歯科診療所負担金(118千円)。 ・専門医等研究資金貸付金(3,000千円)。
34	4	1	1	1	1419 ぜん息児等機能 回復支援事業	福祉課	487	396	0	91	0	0	0	0	396	・医師の指示書に基づく温水プールを利用した機能訓練。温水プールの改修工事に伴って利用者が減少した。 リトルコース実績：5名 週1回コース実績：46名 週2回コース実績：44名 週3回コース実績：0名 一般利用実績：0名

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
34	4	1	1	1	1913 自死対策事業	福祉課	95	89	0	6	0	51	0	0	38	・町の自死対策計画に基づき事業を実施。自死対策の普及啓発物品(クリアファイル)と心の健康についてのリーフレットを600部作成し、町内小・中・高等学校を通じて児童・生徒に配布。9月に智頭町社会福祉協議会職員を対象にゲートキーパー養成研修(45名参加)を、3月の自殺対策強化月間に普及啓発、人材育成を目的に民生児童委員を対象にこころの健康問題研修会(26名参加)を開催。
34	4	1	2	1	1091 感染症予防事業	福祉課	69	5	0	64	0	0	0	0	5	・大雨による家屋浸水後の感染症対策として消耗品(消毒薬等)を購入。
34	4	1	2	1	1093 各種予防事業	福祉課	13,978	13,657	0	321	17	7	0	0	13,633	・各種予防接種を実施することにより、住民自身の健康を維持し、社会的蔓延を防ぐことができた。HPVのキャッチアップ対象者、日本脳炎の接種対象者に勧奨通知をハガキで送付したが、受診率の大きな向上にはつながらなかった。
34	4	1	2	1	1094 狂犬病予防事業	福祉課	116	77	0	39	0	0	0	77	0	・犬の登録頭数：200頭、狂犬病予防接種頭数164頭(集団接種75頭・個別接種89頭)。
34	4	1	2	1	2097 新型コロナウイルスワクチン接種事業	福祉課	41,626	6,845	3,040	31,741	6,844	0	0	0	1	・新型コロナウイルスワクチン接種を行った。R6年度へ事業完了のため繰り越し。 【不用額の主なもの】 ・実績による新型コロナワクチン接種委託料の残。
35	4	1	2	2	2097(繰越明許) 新型コロナウイルスワクチン接種事業	福祉課	15,165	7,563	0	7,602	7,562	0	0	0	1	・新型コロナウイルスワクチン接種関係の体制整備及び、接種を行った。 【不用額の主なもの】 ・実績による新型コロナワクチン接種委託料の残。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
35	4	1	3	1	1097 環境衛生総務	税務住民課	1,229	1,134	0	95	0	0	0	0	1,134	・東部広域行政管理組合への因幡霊場負担金。 ・公害の発生は無。
35	4	1	3	1	2081 特定空家対策事業	税務住民課	2,820	2,820	0	0	1,407	704	0	0	709	・「特定空家」として8件を認定、指導を行う。5棟について解体補助を実施。
35	4	1	4	1	1101 乳児等保健相談事業	福祉課	826	584	0	242	0	16	0	0	568	・赤ちゃん訪問や子育て支援目的で訪問を実施、延17件。子育て講座に延11組の親子が参加。 ＜乳児健診受診者数＞3～4か月健診：20名/20名中(受診率100%)、6～7か月健診：20名/21名中(95.2%)、9～10か月健診：18名/18名中(100%)。
35	4	1	4	1	1104 妊婦保健相談事業	福祉課	6,906	4,689	0	2,217	1,834	563	0	0	2,292	・母子健康手帳の交付、妊産婦の保健相談、出産・子育て応援給付金事業等を実施。 ＜実績＞産後ケア事業 延10件、産前・産後サポート事業 1件、産前・産後整体事業 延20件、妊婦歯科健診受診者 11名、出産応援給付金18件、子育て応援給付金15件、特定不妊治療費助成延3件。 【不用額の主なもの】 ・妊婦健診受診者数が見込みより少なく、不用額が生じた。
35	4	1	4	1	1845 幼児健康診査事業	福祉課	707	601	0	105	2	0	0	0	599	・＜幼児健診受診者数＞1歳6か月健診：16名/16名中(受診率100%)、2歳児歯科健診18名/18名中(受診率100%)、3歳児健診：26名/26名中(受診率100%)。 ・5歳児発達相談は、対象児33名全員にアンケート調査を実施。そこからアンケート結果により7名の幼児に診察・発達検査を行い、その結果をもとに保護者と面談。

【一般会計】					(単位：千円)												
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
35	4	1	4	1	1986 未熟児等養育医療費給付事業	福祉課	302	0	0	302	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟児等本事業該当児の医療費を給付する。給付実績0名。 【不用額の主なもの】 ・医療費が見込みより少なかったため不用額が生じた。
35	4	1	5	1	1108 健康相談事業	福祉課	29	29	0	0	0	7	0	0	22	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染対策を実施しながら独居高齢者の集い、いきいき教室等が開催され、血圧測定や健康相談を実施した。 R5の実績：独居高齢者の集い延べ439名、いきいき教室は1回6名に対応。肝炎ウイルス陽性者のフォロー受診勧奨45通。 	
35	4	1	5	1	1109 健康教育事業	福祉課	612	475	0	137	0	157	0	0	318	<ul style="list-style-type: none"> ・住民対象に、ウォーキング事業や各種予防教室を行い、健康管理、生活習慣病予防の一助とした。(延べ参加人数335名) 	
35	4	1	5	1	1110 健康診査事業	福祉課	27,134	26,963	0	171	0	751	0	0	26,212	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施により、健康管理・病気の早期発見を行うことができた。実績数：胃がん824名、肺がん：943名、大腸がん951名、子宮がん403名、乳がん287名、肝炎93名、智頭町ドック153名、脳ドック20名。 	
35	4	1	5	1	1114 訪問指導事業	福祉課	255	175	0	80	0	7	0	0	168	<ul style="list-style-type: none"> ・要精密検査・要医療、その他事後フォローが必要な住民に訪問し、必要な指導・受診啓発等を行った。(延べ訪問人数：240名) 	
35	4	1	5	1	1870 後期高齢者等健康診査事業	福祉課	3,324	3,055	0	269	0	0	0	2,425	630	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の実施により、対象者の健康保持・病気の早期発見を行うことができた。R5年度は勧奨通知を2回発送(保険証送付時に健診の受診勧奨通知を同封・国保連に委託しみなし健診の勧奨通知を発送)したことにより、受診者数が大幅に増加した。(R5年度実績：389名受診) 	

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
35	4	1	5	1	2023 健康ポイント事業	福祉課	290	275	0	15	0	0	0	0	275	・各種健診・検診の受診、健康講座への参加、ウォーキングなど健康活動に対してポイントを付与。20ポイントで町内店舗で使用できる千円分の杉小判と引き替え。 引き替え延べ人数：208名。
35	4	1	5	1	2111 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業	福祉課	8,765	8,621	0	144	0	0	0	6,697	1,924	・後期高齢者の健康寿命延伸のため、保健事業と介護予防事業等を一体的に実施。ハイリスクアプローチで実90人に面談。高齢者全体の健康度の底上げとして、ポピュレーションアプローチ（集団での健康教育等）を延36回、延196人に実施。外部関係機関との協議を計5回実施。
36	4	1	6	1	1116 保健師設置費	福祉課	20,645	20,182	0	463	23	6	0	118	20,035	・町民の心と身体健康づくりを支える保健師の活動経費。
36	4	1	7	1	1773 保健センター管理事業	福祉課	12,418	11,880	0	538	0	0	0	0	11,880	・保健センターの維持管理を適正に行った。 ・実績による光熱水費、燃料費等の増。
36	4	2	1	1	1118 清掃総務費	税務住民課	514	374	0	140	0	27	0	0	347	・ごみの減量化と資源として活用するため、延べ5団体、63トンの集団回収に対して報償金を支給。 ・野良猫不妊去勢手術6件、生ごみ処理機購入2件に助成。
36	4	2	2	1	1120 じん芥処理事業	税務住民課	116,775	116,601	0	174	0	0	0	11,785	104,816	・ゴミ収集袋の購入、許可業者による収集運搬委託、東部広域行政管理組合の可燃物処理費等負担金により、家庭等から排出される一般廃棄物を適正に処理することができた。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
37	4	2	3	1	1122 し尿処理事業	税務住民課	20,890	20,465	0	425	0	0	0	5	20,460	・し尿及び浄化槽汚泥(計1,051kl)を、東部広域行政管理組合運営の処理施設で処理。
37	4	2	3	1	1526 合併処理浄化槽 設置事業	税務住民課	41	28	0	13	0	0	0	0	28	・合併処理浄化槽補助金 0件。
37	4	3	1	1	1963 上水道事業費	税務住民課	12,647	12,647	0	0	0	0	0	0	12,647	・上水道事業の経営安定のため、職員2名分の給与費及び手当の繰り出しを行った。
37	4	4	2	1	1124 簡易水道施設費	税務住民課	4,564	4,564	0	0	0	0	0	0	4,564	・簡易水道事業の経営安定のため、水質検査手数料の一部補助など繰り出しを行った。 ・起償償還のための繰り出しを行った。
37	4	5	1	1	1125 病院施設費	福祉課	551,491	551,491	0	0	0	20,341	0	0	531,150	・智頭病院の管理・運営をすすめるための繰り出し。コロナ対策補助金、自治体病院補助金など。
37	5	1	1	1	1126 労働諸費	企画課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・ハローワークからの求人情報を活用し、掲示板を利用して住民に周知を図った。 ・就労を困難とする新規学卒者に対し、支度金を支給することで、常用就職の促進並びに職業の安定を諮ることを目的としているが、R5年度について対象者がいない状況であった。
37	6	1	1	1	1127 農業委員会費	農業委員会	15,425	14,995	0	430	0	4,022	0	60	10,913	・農地法に基づく許可事務を適正に行い、優良産地の確保と有効利用を図った。 ・農地台帳システムの運用により、農地の適正な管理が図られている。
37	6	1	1	1	2016 機構集積支援事業	農業委員会	2,485	2,422	0	63	0	152	0	0	2,270	・農地の利用状況調査を実施し、耕作放棄地の減少に努めた。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
38	6	1	2	1	1134 農業総務費	山村再生課	17,954	17,673	0	281	0	0	0	0	17,673	・職員人件費(3名分)
38	6	1	3	1	1136 農業振興費	山村再生課	4,907	4,888	0	19	0	2,371	0	0	2,517	・農地情報の把握及び管理、農家の経営所得安定対策支援のほか、農産物流通施設(JA育苗センター)の改修支援を行った。
38	6	1	3	1	1776 鳥獣等被害防止事業	山村再生課	10,852	10,357	0	495	0	6,660	0	0	3,697	・イノシシ、ニホンジカ等の有害鳥獣について、「侵入を防止する対策」と「個体数を減らす対策」を並行して進めた。今後、さらなる若手狩猟者の参入促進に向けた取り組みを八頭郡猟友会智頭支部や百人委員会獣害対策部会と連携しながら行っていく必要がある。 ・捕獲頭数 イノシシ70頭(R4:50頭) ニホンジカ656頭(R4:471頭)
38	6	1	3	1	1800 地域農業振興プラン支援事業	山村再生課	15,164	15,155	0	9	0	3,104	5,900	0	6,151	・集落支援員として智頭町農業振興推進員1名を(一社)山郷地区振興協議会に配置するとともに、人・農地プランの中心経営体、担い手、集落営農組織等の農業者の農業経営基盤整備等の支援を行った。また、担い手へ農地集積を促進するための支援を行った。
38	6	1	3	1	1859 中山間地域等直接支払交付金事業	山村再生課	59,245	59,173	0	72	0	43,267	0	0	15,906	・平場と比べ生産条件が不利な中山間地域における農業生産条件の不利性を是正するため、農用地面積及び傾斜に応じて、集落活動の支援を行った。(38協定) ・タブレット端末の導入により、現地確認の省力化を図った。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
38	6	1	3	1	1953 ホンモノの農産物づくり推進事業	山村再生課	5,405	5,327	0	78	0	0	2,900	0	2,427	・自然栽培の新規就農者及び団体に対する支援、家庭菜園野菜の集出荷体制の整備に対する支援を行うとともに、県内外のイベントで農産物のPRに努めた。
38	6	1	3	1	2006 多面的機能支払交付金事業	山村再生課	15,893	15,768	0	125	0	11,664	0	0	4,104	・集落で行う農地や農業用水等の地域資源の保全活動を支援した。(26組織 新規1組織) ・田んぼダムの取組により、流域治水の防災・減災に貢献した。(3組織) ・タブレット端末の導入により、現地確認の省力化を図った。
38	6	1	3	1	2007 農地中間管理事業	山村再生課	200	199	0	1	0	0	0	199	0	・農地中間管理機構から委託を受け、農地中間管理事業の推進に取り組んだ。
38	6	1	4	1	1143 土地改良施設維持管理事業	地域整備課	60	43	0	17	0	0	0	0	43	・農道台帳管理の為に費用を一部負担することにより、農道台帳による永続的な記録の管理を図ることができた。
38	6	1	5	1	1145 畜産業費	山村再生課	293	265	0	28	0	18	0	0	247	・畜産農家の意欲高揚を図るため、第178回智頭町畜産共進会を開催するとともに、和牛の増頭支援を行った。
38	6	1	6	1	1392 地籍調査事業	地籍調査課	252,782	143,340	107,804	1,638	0	70,125	0	0	73,215	・正確な図面が利用でき、様々な事業が正確に計画できる。また任意の縮尺及び範囲の図面が提供でき、流失、埋没した場合でも復旧が円滑に出来る。 ・3大字(大呂の一部・中原の一部・慶所の一部)地区を実施することで事業の進捗を図った。 ・今後、土地所有者の高齢化により境界確認が困難になる等が予想され、推進体制の見直しなどを行い事業の進捗を図る必要がある。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
39	6	1	6	2	1392(繰越明許) 地籍調査事業	地籍調査課	21,150	21,061	0	89	0	15,732	0	0	5,329	・R4年度の国の補正予算による事業繰越。 ・大字大屋の一部を実施することで事業の進捗を図った。
39	6	1	7	1	1402 農業集落排水事業	税務住民課	257,124	255,000	0	2,124	0	0	0	0	255,000	・農業集落排水事業の経営安定のため、維持管理費及び起債償還費に対して繰り出し。 【不用額の主なもの】 ・農業集落排水事業会計の実績減によるもの。
39	6	2	1	1	1148 林業総務費	山村再生課	32,754	32,500	0	254	0	0	0	0	32,500	・職員人件費(5名分)
39	6	2	2	1	1654 森づくり作業道整備事業	山村再生課	41,011	29,411	11,599	1	0	19,407	0	4,077	5,927	・森林所有者や林業事業者等が行う森林作業道の開設及び搬出道の維持改良を支援した。 ・開設路線：20路線、10,771m 改良(強化)：20路線 【繰越額の主なもの】 ・森づくり作業道整備事業補助金及び智頭材搬出維持改良支援事業費補助金の繰越。
39	6	2	2	1	1896 森林セラピー事業	山村再生課	5,344	4,610	0	734	0	0	700	0	3,910	・SNS等での情報発信に加え、県外企業へPR営業も行い、森林セラピーの現地視察を受け入れた。 (H29：1,011人、H30：634人、R1：556人、R2：410人、R3：213人、R4：691人、R5：522人)
39	6	2	2	1	1933 木の宿場プロジェクト推進事業	山村再生課	4,139	3,865	0	274	0	0	2,200	0	1,665	・林地残材を地域通貨(杉小判)で買い取り、町内の商店の活性化にもつなげていく取り組みを支援し、併せて、買い取った間伐材(210t)を利用する薪ボイラー(温水プールの熱源供給)の維持管理を行った。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
39	6	2	2	1	1972 智頭町まるごと 民泊事業	山村再生課	4,646	4,426	0	220	550	0	2,400	0	1,476	・新型コロナウイルス感染症流行以降、民泊利用者が減少傾向にあるが、民泊フォトログイニング等を通じたPRに努めた。
39	6	2	2	1	2053 林業事業者等支 援事業	山村再生課	17,962	16,251	0	1,711	0	1,217	0	2,663	12,371	・林業事業者等の取り組み（社会保険の加入促進、機械化促進の購入及びリースの支援、薪ストーブ設置等）を支援し、本町の林業・木材産業の活性化を推進した。 ・複業協同組合と連携しながら、林業マルチワーカーの仕組みづくりに取り組んだ。 ・倒木のおそれのある危険木の事前伐採に取り組んだ。
39	6	2	2	1	2054 森林・林業情報 発信事業	山村再生課	661	499	0	162	0	0	0	0	499	・首都圏での智頭材商品のPRに努めた。
39	6	2	2	1	2082 森林経営管理推 進事業	山村再生課	10,811	8,593	0	2,218	0	0	0	2	8,591	・森林経営管理制度に基づき、意向調査を22ha、集積計画案作成を17ha、間伐を0.8ha実施した。 【不用額の主なもの】 ・森林環境譲与税充当事業の実績による基金積立額の減。
39	6	2	2	1	2085 山と暮らしの人 づくり事業	山村再生課	56,736	49,925	0	6,811	0	0	16,200	0	33,725	・智頭材の出荷・利用を促進するための支援を行った。(素材供給 29,912m ³ ・製品供給 4,853m ³ ・製品利用 175m ³) ・智頭の山と暮らしの未来ビジョンの実現へ向けた学習会開催や担い手相談所の開設、山人塾の活動支援を実施し、智頭林業を支える人材育成を行った。 【不用額の主なもの】 ・豪雪に伴う智頭材出荷量の減。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
39	6	2	2	1	2089 地域通貨による 地域経済活性化 促進事業	山村再生課	68,098	45,830	22,178	90	45,798	0	0	0	32	・新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた町内経済を下支えするため、全町民を対象に杉小判の配布を行った。 杉小判取扱加盟店：125件（令和6年3月31日現在） 【繰越額の主なもの】 ・杉小判換金作業に伴う委託料、交付金。
40	6	2	2	2	2082(繰越明許) 森林経営管理推 進事業	山村再生課	1,479	1,477	0	2	0	0	0	0	1,477	・森林経営管理制度に基づき、間伐を2.7ha実施した。
40	6	2	3	1	1156 町有林造林事業	山村再生課	6,808	6,696	0	112	0	0	0	277	6,419	・町有林の管理を実施（職員人件費：1名分）するとともに、SGEC森林管理認証の定期審査を受けた。
40	6	2	3	1	1906 美しい森林づく り基盤整備事業	山村再生課	36,074	17,563	18,510	1	11,316	3,195	0	0	3,052	・森林の機能増進に資する搬出間伐（作業道開設も含む）に対する支援を行い、森林整備の推進を図った。 (実績 間伐：26ha、作業道：2,581m) 【繰越額の主なもの】 ・智頭町美しい森林づくり基盤整備事業交付金推進補助金の繰越。
40	6	2	3	2	1906(繰越明許) 美しい森林づく り基盤整備事業	山村再生課	3,730	2,919	0	811	1,990	719	0	0	210	・森林の機能増進に資する搬出間伐（作業道開設も含む）に対する支援を行い、森林整備の推進を図った。 (実績 間伐：7ha、作業道：78m)

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
40	6	2	5	1	1158 林道維持管理事業	地域整備課	23,793	23,684	0	109	0	8,602	0	457	14,625	・町管理林道の維持管理において、舗装等修繕工事、支障木や堆積土砂の撤去など、適切な状態を保つことに一定の成果を得た。また、智頭町森林組合管理林道について、一部分担金を徴収する形で修繕工事を行うとともに災害発生時には迅速な対応を行い、林道利用者の安全・安心を守ることができた。しかしながら、林道の経年による劣化や局地的な豪雨による損傷など、今後の維持管理が課題である。
40	6	2	5	1	1159 公共林道事業	地域整備課	8,547	8,547	0	0	0	4,273	0	0	4,274	・町管理林道林道沖ノ山線外8路線の橋りょう及びトンネルの点検を実施し、点検結果をもとに、今後、修繕計画を立て林道利用者の安全、安心を確保していく。
40	6	2	5	1	1417 県営林道事業	地域整備課	23,835	13,401	10,434	0	0	1,656	7,500	0	4,245	・県営林道整備に要する工事費の一部、用地購入費用を負担することで、県営林道（因美林道・中ノ津線）の整備促進を推進し、木材の運搬ルートの確保、林業の生産性の向上を図ることができた。 【繰越額の主なもの】 ・県営林道（因美線・箆山線）の負担金。
40	6	2	5	2	1417(繰越明許) 県営林道事業	地域整備課	22,851	22,205	0	646	0	0	19,800	0	2,405	・県営林道整備に要する工事費の一部を負担することで、県営林道（因美林道・中ノ津線・箆山線）の整備促進を推進し、木材の運搬ルートの確保、林業の生産性の向上を図ることができた。
41	6	3	1	1	2015 外来魚駆除事業	山村再生課	412	373	0	39	0	0	0	4	369	・外来魚（ブラウントラウト）を駆除し、在来魚の保全を推進する取り組みを支援した。 ・ブラウントラウトダービーによる普及啓発に取り組んだ。 (H29：85匹、H30：53匹、R1：99匹、R2：141匹、R3:194匹、R4:268匹、R5:495匹)

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
41	7	1	1	1	1165 商工振興費	企画課	85,784	76,090	0	9,694	3,868	27,809	0	9,965	34,448	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗改修、新規創業支援、企業立地促進、信用保証料補助、マル経融資並びに商工会への交付金により商工振興の充実を図った。 ・トスク撤退による買い物環境整備に向けた対策として、買物環境確保推進事業補助金を策定し、エスマートの早期参入及び町民の買い物環境確保に大きく貢献した。 <p>【不用額の主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金の実績による残。(新型コロナウイルス感染症等対応利子補給補助金、特定地域づくり事業推進補助金ほか)
41	7	1	2	1	1167 観光事業	企画課	36,861	34,343	0	2,518	2,901	0	20,000	0	11,442	<ul style="list-style-type: none"> ・町公式SNSを活用した町民ライターによる町の魅力を積極的に国内外へ発信する魅力発信事業など、多方面からの積極的な情報発信を実施。 <p>【不用額の主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちDMO観光DX推進事業の実績減に伴う負担金残並びに観光協会運営費補助金の年度途中での人事異動並びにイベント中止に伴う実績減が主な理由。
41	7	1	2	1	1650 観光施設管理事業	企画課	30,425	30,001	0	424	7,142	0	11,800	885	10,174	<ul style="list-style-type: none"> ・町内観光施設等の適切な管理及び維持修繕を行った。 ・那岐地区の念願であった那岐山展望休憩所を新設し、地域の魅力発進のほか、自然共生社会づくりに貢献した。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
41	7	1	3	1	1678 国際交流事業	企画課	1,842	1,812	0	30	0	0	0	0	1,812	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により各種交流事業が実施できていなかったが、3年振りに現地（楊口郡）での実務者協議を実施。次年度以降の交流事業（職員研修）の協議を実施し、両地域間の交流の重要性を再確認した。 ・産業人材の育成として、インドネシアとの新たな交流事業が生まれつつある。両国連携による林業・農業の担い手をテーマに、引き続き協議を進めて行く必要がある。
42	8	1	1	1	1168 土木総務費	地域整備課	37,563	37,335	0	228	0	62	0	0	37,273	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟する道路期成会等の積極的な要望活動により、整備必要箇所の早期事業化や改良を促す。中でも、志戸坂峠防災の事業化は、本町にとっても大きな効果をもたらすことになると考える。 ・はたらく乗り物展、ちびっ子河川パトロールの実施。
42	8	2	1	1	1170 道路維持事業	地域整備課	23,715	23,592	0	123	0	0	0	0	23,592	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の陥没や舗装剥離の修繕、カーブミラーの設置等により通行者の安全を保った。 ・道路愛護事業の推進行うことにより、町道の快適な状態を維持するとともに地域住民による意識の向上に繋がっている。 ・各路線で道路の劣化や損傷が見受けられる。また水路等の吸い出しによる陥没は頻発しており、今後の大きな課題である。 (実績) 道路愛護事業 9集落

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
42	8	2	1	1	1295 除雪事業	地域整備課	21,575	20,744	0	831	0	1,112	10,400	396	8,836	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪計画の見直し、大型除雪車両の導入により、効率的な除雪体制を確保するとともに、積雪時の安全な通行を確保することができた。 ・小型歩道除雪機10台を購入。要望のある集落へ貸与することにより、共助による地域除雪の普及、定着が図られた。 ・運転手育成支援事業により、地域の建設業者の除雪機械運転手となる若手人材(2名)を確保し、冬期も安心して暮らすことのできる地域づくりを進めることができた。
42	8	2	1	1	2103 緊急自然災害防止対策事業	地域整備課	25,050	24,846	0	204	0	0	24,500	0	346	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の舗装修繕を実施し、住民の生活環境の向上を図り、住民の安全・安心を守ることができた。 完成：町道源平線、町道久志谷三田線、町道久志谷線、町道岩神段線
42	8	2	1	2	1170(繰越明許) 道路維持事業	地域整備課	2,599	2,019	0	580	0	0	0	0	2,019	<ul style="list-style-type: none"> ・町道奥本河津原線舗装修繕工事(河津原踏切)の修繕工事を行い住民の安全・安心を守ることが出来た。
42	8	2	1	2	1295(繰越明許) 除雪事業	地域整備課	17,236	6,098	0	11,138	0	0	0	0	6,098	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪計画の見直しにより、効率的な除雪体制を確保し、積雪時の安全な通行を確保することができた。 【不用額の主なもの】 <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度の大雪への対応費用(除雪、倒木処理、機械修繕等)の実績による残。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
43	8	2	2	1	1336 社会資本整備総合交付金	地域整備課	103,011	41,678	61,330	3	15,130	0	17,600	0	8,948	<ul style="list-style-type: none"> ・町道、歩道等の整備により、住民の安全・安心を図ることができた。 ・雪寒指定路線を除雪することにより、住民の安全な通行を確保することができた。 ・修繕工事の実施 完成：町道市瀬新道線 ・町道除雪 【繰越額の主なもの】 ・修繕工事：町道三田中田線（3工区） ・修繕工事設計：町道下向線、町道天木線、町道池本線 ・用地購入：町道下向線、町道池本線 ・物件移転等補償：町道下向線、町道池本線
43	8	2	2	1	1778 ふるさと整備土木事業	地域整備課	11,700	11,655	0	45	0	5,000	0	2,522	4,133	<ul style="list-style-type: none"> ・申請のあった集落管理の法面、水路等を改良することで、地域住民の利便性向上を図ることができた。 (実績) 木原地区水路改良工事、真鹿野地区水路改良工事 東宇塚地区法面修繕工事、宇波地区法面修繕工事 中田地区法面修繕工事、紺屋土居地区水路修繕工事、米井地区水路修繕工事
43	8	2	2	1	2010 地方創生整備推進交付金事業	地域整備課	9,950	3,741	6,209	0	1,700	0	800	0	1,241	<ul style="list-style-type: none"> ・県営林道の整備と併せて、それに繋がる町道の整備を行うことにより、利用者の利便性の確保及び林業の振興を図ることができた。 【繰越額の主なもの】 ・町道奥本河津原線道路改良（3工区）

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
43	8	2	2	1	2094 道路メンテナンス補助事業	地域整備課	122,753	122,081	0	672	73,704	0	48,300	0	77	<ul style="list-style-type: none"> ・町管理の老朽化した橋梁の修繕によって、住民の生活環境の向上、通勤通学時の安全確保や他施設利用の利便性向上が図られた。 ・橋梁修繕工事の実施 完成：町道市瀬護岸線（新市瀬橋）、町道黒尾線（野々谷橋） ・橋梁修繕工事設計の実施 完成：町道神社線（新見橋）、町道中原線（天狗谷橋）、町道志戸坂線（大井谷橋）
43	8	2	2	1	2109 通学路緊急対策事業	地域整備課	11,500	463	11,036	1	0	0	400	0	63	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路合同点検に基づき、町道の道路改良を実施し、通学時の安全の確保が図られた。 ・道路改良工事の実施 【繰越額の主なもの】 ・町道関屋黒本線
43	8	2	2	2	1171(繰越明許) 道路新設改良事業	地域整備課	1,505	35	0	1,470	0	0	0	2	33	<ul style="list-style-type: none"> ・県が行う急傾斜地崩壊対策事業により、住民の安心安全が図られた（大内木下地区）。 【不用額の主なもの】 ・負担金の減によるもの。
43	8	2	2	2	1336(繰越明許) 社会資本整備総合交付金	地域整備課	68,560	67,220	0	1,340	48,487	0	17,900	0	833	<ul style="list-style-type: none"> ・町道、歩道等の整備により、住民の安全・安心を図ることができた。 ・修繕工事の実施 完成：町道下向線（3工区）、町道関屋黒本線（2工区）、町道関屋黒本線（3工区）、町道三田中田線（2工区）、町道関屋線（3工区） ・修繕工事設計の実施 完成：町道池本線（測量設計、物件調査）、町道天木線（測量1工区、2工区、設計1工区）

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
43	8	2	2	2	2010(繰越明許)地方創生整備推進交付金事業	地域整備課	6,848	6,595	0	253	3,100	0	3,200	0	295	・県営林道の整備と併せて、それに繋がる町道の整備を行うことにより、利用者の利便性の確保及び林業の振興を図ることができた。 完成：町道奥本河津原線道路改良(2工区)
43	8	2	2	2	2094(繰越明許)道路メンテナンス補助事業	地域整備課	53,509	51,973	0	1,536	32,905	0	19,000	0	68	・町管理の老朽化した橋梁の修繕によって、住民の生活環境の向上、通勤通学時の安全確保や他施設利用の利便性向上が図られた。 完成：町道栃本線(夏原橋)、町道古鼠線(尾見大橋)
44	8	3	1	1	1174 都市計画総務費	地域整備課	1,247	1,132	0	115	0	0	0	0	1,132	・公園内の草刈及び剪定、管理道路の腐葉土の除去を行い、町民が安全快適に利用できるように維持管理を行った。
44	8	3	2	1	1367 下水道整備事業	税務住民課	150,301	150,000	0	301	0	0	0	0	150,000	・公共下水道事業の経営安定のため、維持管理費及び起債償還費に対して繰り出し。
44	8	4	1	1	1176 町営住宅管理事業	税務住民課	13,768	13,129	0	639	0	0	0	10,439	2,690	・町営住宅2団地、38戸(改良住宅20戸、特定公共賃貸住宅18戸)の安心で安全な住宅環境の提供に努めた。
44	8	4	2	1	1177 県営住宅管理事業	税務住民課	2,809	1,939	0	870	0	1,939	0	0	0	・鳥取県から管理代行委託を受けている2団地、62戸(うち入居57戸)の安心で安全な住宅環境の提供に努めた。
44	8	5	1	1	2084 河川維持管理事業	地域整備課	1,300	1,295	0	5	0	0	0	0	1,295	・普通河川の修繕、土砂撤去を行い、道路利用者の安全確保を図ることができた。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
45	9	1	1	1	1178 常備消防費	総務課	126,292	126,292	0	0	0	0	0	0	126,292	・東部広域行政管理組合負担金を支払った。
45	9	1	1	2	1178(繰越明許) 常備消防費	総務課	842	842	0	0	0	0	0	842	・八頭消防署智頭出張所敷地外排水施設工事を実施、完成した。	
45	9	1	2	1	1179 非常備消防費	総務課	27,609	27,275	0	334	0	0	1,000	26,275	・消防団員報酬・消防団員福祉共済、公務災害負担金等の経費を支払った。	
45	9	1	3	1	1180 消防施設費	総務課	3,064	2,694	0	370	0	0	29	2,665	・消防施設・消防車両の維持管理を行った。	
45	9	1	4	1	1181 防災費	総務課	47,022	43,689	0	3,333	0	889	24,500	18,300	・防災無線の維持管理を行った。 ・防災公園造成に係る地盤影響調査、測量、用地購入を実施。 ・旧あたご保育園解体工事の設計・アスベスト調査を実施。 ・耐震性防火水槽設置工事の設計を実施。 【不用額の主なもの】 ・実績による時間外勤務手当、修繕料、光熱水費、補助金の残。 ・実績減による委託費の残。	
46	10	1	1	1	1182 教育委員会費	教育課	1,410	1,380	0	30	0	0	0	1,380	・定例教育委員会12回、臨時教育委員会1回開催。保育園1回、小学校と中学校を各2回訪問し、教育行政の現状と課題を把握し、環境、業務改善に繋げた。	

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
46	10	1	2	1	1183 事務局費	教育課	59,170	58,411	0	759	0	6,136	0	190	52,085	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの地域コーディネーターを1名雇用。 ・小中学校教員向け合同研修会を実施。 ・マイクロバスの運行管理。 (運行回数107回、延べ2,398人) ・鳥取線のバスを利用する小中学生の通学費を全額補助し、保護者の負担を軽減した。 ・自力で通学できない小中学生を養護学校へ送迎。送迎専用車両を購入。 ・やず教育支援センター運営支援。
46	10	1	2	1	1456 外国語指導助手 招致事業	教育課	3,821	3,742	0	79	0	0	0	4	3,738	<ul style="list-style-type: none"> ・1名配置し、担当教員が行う授業を補助し、児童生徒の英語力を向上させた。
46	10	1	2	1	1529 国際交流事業	教育課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。
46	10	1	2	1	1987 特別支援教育総合 推進事業	教育課	1,857	1,634	0	223	472	139	0	0	1,023	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援コーディネーターが主に保育園や小中学校を巡回し、発達障がいなど支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援を行うための体制づくりを進めた。
46	10	1	2	1	2057 スクールソーシャル ワーカー 活用事業	教育課	1,147	1,107	0	40	0	708	0	0	399	<ul style="list-style-type: none"> ・学校不適應等の対処方法について教員へ指導し、教員の指導力を向上させた。
46	10	1	2	1	2107 スクールバス運 行管理事業	教育課	74,163	73,491	0	672	3,750	704	11,300	0	57,737	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行管理。 ・バス1台購入。 ・置き去り防止ブザーの設置。
46	10	2	1	1	1599 小学校事業	教育課	67,921	66,103	0	1,818	53	231	13,700	0	52,119	<ul style="list-style-type: none"> ・学校プールを廃止し、温水プールでインストラクターの指導による水泳授業を開始。 ・体育館空調を整備。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
47	10	3	1	1	1187 中学校事業	教育課	45,714	43,765	0	1,949	28	527	0	0	43,210	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員1名、外部指導者5名。 ・インストラクターの指導による水泳授業を開始。 ・2,3年生、協力金により少人数学級実施。
48	10	4	1	1	1190 社会教育費	教育課	34,243	33,970	0	273	0	0	0	0	33,970	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育及び社会体育における住民サービスを充実させるための円滑な事務運営に努めた。
48	10	4	1	1	1192 文化財保護事業	教育課	2,822	2,492	0	330	0	0	0	0	2,492	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の現況を調査及び町内文化財、歴史資料の整理。
48	10	4	1	1	1195 社会教育事業	教育課	4,653	3,766	0	887	0	75	0	0	3,691	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの地域コーディネーターを2名雇用。 ・文化祭、成人式、青少年交流事業（ナギノ森ノ宿）、おやつ作り教室、ねんりんピックプレ大会を開催。
48	10	4	1	1	1199 家庭教育学級事業	教育課	439	357	0	82	0	0	0	0	357	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回育カフェを実施。 ・小学校1年生の家庭訪問。 ・元気とどけるサポーターを1名配置し、家庭の相談役を担った。
48	10	4	1	1	1477 遺跡発掘事業	教育課	52,878	3,047	49,758	73	1,061	530	0	0	1,456	<ul style="list-style-type: none"> ・町の出土遺物の常設展示(旧土師小学校)や縄文土器づくり体験の開催を通じて埋蔵文化財の保存活用を推進した。 ・坂原地区復旧治山工事に伴う埋蔵文化財発掘調査に着手。 <p>【繰越額の主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂原地区復旧治山工事に伴う埋蔵文化財発掘調査。

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
48	10	4	2	1	1200 中央公民館費	教育課	30,256	29,761	0	495	0	0	0	333	29,428	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動拠点として、中央公民館（総合センター）の利用促進を図った。（利用者延べ23,884人） ・1階多目的トイレ修繕。 ・生涯学習講座。
48	10	4	3	1	1208 地区公民館費	教育課	31,342	30,364	0	978	0	0	2,400	62	27,902	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生涯学習、文化活動、スポーツ、青少年育成事業などの社会教育活動を行った。 ・山二公民館トイレ改修。
49	10	4	4	1	1209 社会教育施設費	久志谷集会所	7,730	7,310	0	420	0	0	0	0	7,310	<ul style="list-style-type: none"> ・習字教室(49回)、文化教室(3回)、講演会(1回)開催し、地域の子どもの育成、住民の人権意識啓発を行った。 ・解放文化祭を従来の形式で開催し、久志谷・本折相互で問題解決へ向けた連携協力を図った。
49	10	4	5	1	1562 文化財整備活用事業	教育課	62,786	47,657	13,838	1,291	3,807	5,395	0	1,488	36,967	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅 入館者数 13,589人 ・智頭往来志戸坂峠越災害復旧工事 ・重要文化的景観整備事業補助金 2件 ・伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金 1件 ・文化財補助事業補助金 4件（獅子舞3件、林業関係資料1件） 【繰越額の主なもの】 ・智頭往来志戸坂峠越災害復旧工事
50	10	4	6	1	1770 図書館費	教育課	32,886	31,378	0	1,508	0	0	0	219	31,159	<ul style="list-style-type: none"> ・読書・図書貸出利用のほか、会議・イベント会場など、多様な住民活動の場として活用された。 ・図書貸出冊数 68,928冊 ・蔵書冊数 65,896冊 ・延べ入館者数 49,492人

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
50	10	4	7	1	1856 人権教育推進員 設置事業	総務課	2,592	2,481	0	111	0	1,000	0	0	1,481	・人権・同和問題学習の企画や指導助言 を行い、人権・同和教育の推進・啓発を 図ることができた。
50	10	5	1	1	1212 体育振興費	教育課	6,804	6,403	0	401	0	600	0	0	5,803	・智頭町体育協会、スポーツ推進委員協 議会、総合型地域スポーツクラブを円滑 に運営した。 ・トップアスリート育成支援事業費奨励 金 (延べ14名、1団体)
51	10	5	2	1	1215 学校給食費	教育課	116,636	114,397	0	2,239	0	0	22,800	3,909	87,688	・プレハブ冷蔵庫修繕、蒸煮冷却器購 入。 ・給食費の無償化により、保護者負担を 軽減。 【不用額の主なもの】 ・社会保険料、賄材料費、手数料実績に よる残。
51	10	5	3	1	1217 体育施設管理費	教育課	77,665	77,280	0	385	0	0	32,100	105	45,075	・勤労者体育センター庇防水修繕、照明 LED化、温水プール外壁工事。 ・智頭温水プール利用者数 延べ15,947人
51	10	5	3	2	1217(繰越明許) 体育施設管理費	教育課	93,120	90,538	0	2,582	0	0	81,600	0	8,938	・温水プール空調工事。 【不用額の主なもの】 ・工事請負費：実績による残。

【一般会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
52	11	1	1	1	1224 農地農業用施設 災害復旧事業	地域整備課	32,874	16,309	16,563	2	0	10,553	4,400	280	1,076	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月の豪雨及び令和5年8月の台風7号災害によって被災した農地5箇所、施設2箇所について、災害復旧を行い、安定した農業経営や農道等施設利用者の安全の確保が図られた。 災害復旧工事の実施 完成：21-1応急工事、21-1（農地/東宇塚）、21-5（農地/埴師）、21-201（施設/埴師） 災害復旧工事測量設計の実施 完成：21-1、21-2、21-3、21-4、21-5、21-201、21-202 【繰越額の主なもの】 災害復旧工事：21-2（農地/三田）、21-3（農地/三田）、21-4（農地/山根）、21-202（施設/口波多）
52	11	1	2	1	1970 林道施設災害復 旧事業	地域整備課	66,545	22,089	44,455	1	0	2,931	17,000	0	2,158	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年台風7号により被災した林道施設の早期復旧により、林産物の搬出等、林道の機能回復を図られた。 災害復旧工事測量設計の実施 完成：箆山線（3箇所）、宇波竹之下線、中ノ津線（3箇所）、鳴滝線、小又線 【繰越額の主なもの】 災害復旧工事：箆山線（3箇所）、宇波竹之下線、中ノ津線（3箇所）、鳴滝線、小又線
52	11	1	2	2	1970(繰越明許) 林道施設災害復 旧事業	地域整備課	7,308	5,371	0	1,937	0	4,095	1,000	0	276	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年7月7日から7月8日にかけての豪雨災害による被災箇所の復旧を行うことにより、林道利用者の安全の確保が図られた。 災害復旧工事の実施 完成：草原津谷線、金山線

【一般会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	担当課	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
52	11	2	1	1	1971 公共土木災害復旧事業	地域整備課	14,265	6,464	7,799	2	2,335	0	3,600	0	529	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年台風7号により被災した普通河川の河岸及び水路を速やかに復旧により、施設の機能回復を図られた。 災害復旧工事測量設計の実施 完成：普通河川小鳥見川 【繰越額の主なもの】 災害復旧工事：普通河川小鳥見川
52	12	1	1	1	1227 地方債償還元金	総務課	779,372	779,207	0	165	0	0	0	0	779,207	・町債の償還元金
53	12	1	2	1	1228 地方債等償還金 利子	総務課	25,047	25,047	0	0	0	0	0	0	25,047	・町債の償還利子
53	14	1	1	1	1229 予備費	総務課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

令和5年度 主要事業説明書

【国民健康保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
63	1	1	1	1	1238 一般管理費	17,016	16,128	0	888	0	0	0	16,128	0	・不用額はレセプト点検委託料減など実績の減。
63	1	2	1	1	1240 賦課徴収費	2,351	2,304	0	47	0	0	0	0	2,304	・国保税の賦課徴収事業。
63	1	3	1	1	1241 運営協議会費	118	54	0	64	0	0	0	54	0	・国保運営協議会の必要経費。 (R5年度・3回開催)
63	2	1	1	1	1243 一般被保険者療養給付費	501,050	446,403	0	54,647	0	446,403	0	0	0	・国保被保険者（一般被保険者）の療養給付費。 【不用額の主なもの】 ・総医療費見込み減少によるもの。
63	2	1	3	1	1245 一般被保険者療養費	2,796	2,734	0	62	0	2,734	0	0	0	・国保被保険者（一般被保険者）の療養費。
64	2	1	5	1	1247 審査支払手数料	1,588	1,476	0	112	0	1,476	0	0	0	・診療報酬明細書の請求内容の審査手数料 国保連合会へ支払い。
64	2	2	1	1	1248 一般被保険者高額療養費	84,960	74,141	0	10,819	0	74,141	0	0	0	・国保被保険者（一般被保険者）の高額療養費。 【不用額の主なもの】 ・総医療費の減少によるもの。
64	2	2	3	1	1871 一般被保険者高額介護合算療養費	250	0	0	250	0	0	0	0	0	・国保被保険者（一般被保険者）の高額介護合算療養費。（R5年度・給付なし）

【国民健康保険事業特別会計】					(単位：千円)											
ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
64	2	3	1	1	1434 一般被保険者移送費	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	・国保被保険者（一般被保険者）へ移送費の給付。（R5年度・給付なし）
64	2	4	1	1	1436 出産育児一時金	2,500	1,000	0	1,500	0	0	0	667	333	・国保被保険者へ出産一時金の支給。 (2件/年) 【不用額の主なもの】 ・見込みよりも出産が少なかったため不用額が生じた。	
64	2	4	2	1	2063 審査支払手数料	2	1	0	1	0	0	0	0	1	・出産育児一時金の請求内容の審査手数料 国保連合会へ支払い。	
64	2	5	2	1	1251 葬祭費	750	750	0	0	0	0	0	0	750	・国保被保険者の死亡に対し葬祭費の支給。 (25件/年) ・見込みの20件より多く、補正及び予備費充用。	
64	2	7	1	1	2088 傷病手当金	184	0	0	184	0	0	0	0	0	・新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金。（0件）	
64	3	1	1	1	2064 国民健康保険事業費納付金一般医療給付費分	112,578	112,577	0	1	0	13,572	0	43,655	55,350	・鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等考慮し県が決定。	
64	3	2	1	1	2066 国民健康保険事業費納付金一般後期高齢者支援金等分	45,701	45,700	0	1	0	5,510	0	17,722	22,468	・鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等考慮し県が決定。	
65	3	3	1	1	2068 国民健康保険事業費納付金介護納付金分	12,884	12,883	0	1	0	1,553	0	4,996	6,334	・鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等考慮し県が決定。	

【国民健康保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
65	4	1	1	1	1256 その他共同事業 拠出金	5	1	0	4	0	0	0	0	1	・その他共同事業への拠出金。
65	5	1	1	1	2069 財政安定化基金 拠出金	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・R5年度支出なし。
65	6	1	1	1	1257 健康づくり事業	523	523	0	0	0	0	0	0	523	・被保険者の健康保持増進及び療養環境の向上のための事業。 ・主にシステム保守委託料。
65	6	1	3	1	1260 医療費適正化対 策事業費	2,466	1,084	0	1,382	0	1,084	0	0	0	・医療費適正化対策として医療費通知・ジェネリック差額通知の作成・発送経費及び啓発等の委託事業。 医療費通知・・・4回/年 ジェネリック差額通知・・・4回/年 【不用額の主なもの】 ・実績減による委託料の残。
65	6	2	1	1	1976 特定健診事業	13,654	7,224	0	6,430	0	822	0	0	6,402	・被保険者の健康保持増進及び療養環境の向上のための事業。 特定健診分・・・439件/年 【不用額の主なもの】 ・当初の見込みよりも受診者数が少なかったため。
65	7	1	1	1	1261 財政調整基金積 立金	52	52	0	0	0	0	0	0	52	・国保財政調整基金の積立に要する経費。 (基金利息分の積立て)
66	8	1	2	1	1262 公債費	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・一時借入金利子 (R5年度・支出なし)

【国民健康保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
66	9	1	1	1	2070 一般被保険者保 険税還付金	2,000	1,224	0	776	0	0	0	0	1,224	・過誤納となった国保税等の還付金。
66	9	1	6	1	2071 保険給付費等交 付金償還金	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・過年度の国庫負担金等の精算額の確定による返還金。
66	9	1	2	1	2073 退職被保険者等 保険税還付金	50	0	0	50	0	0	0	0	0	・過誤納となった国保税等の還付金。
66	10	1	1	1	1267 予備費	6,970	0	0	6,970	0	0	0	0	0	・年度途中における医療費等の増加に対応するための予備費。 (R5年度 葬祭費増により30千円充用)
合 計						810,456	726,259	0	84,197	0	547,295	0	83,222	95,742	

令和5年度 主要事業説明書

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
72	1	1	2	1	1231 住宅新築資金貸付事業費	732	732	0	0	0	0	0	732	0	・貸し付けた資金の回収業務を実施。債務弁済契約による分割確約納付、個別交渉結果による分割確約納付などにより資金回収に努めている。回収した資金は、住宅新築資金等償還推進助成事業に充て、残額を一般会計へ繰り出した。
72	1	1	3	1	1232 宅地取得資金貸付事業費	288	288	0	0	0	0	0	288	0	・貸し付けた資金の回収業務を実施。債務弁済契約による分割確約納付、個別交渉結果による分割確約納付などにより資金回収に努めている。回収した資金は、一般会計へ繰り出した。
72	1	1	4	1	1398 住宅新築資金等償還推進助成事業費	832	830	0	2	0	130	0	219	481	・償還業務に係る人件費、事務費の支出。
合 計						1,852	1,850	0	2	0	130	0	1,239	481	

令和5年度 主要事業説明書

【公共用地先行取得事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
78	1	1	1	1	1233 土地取得費	1	1	0	0	0	0	0	1	0	・利息積み立てを行った。
合 計						1	1	0	0	0	0	0	1	0	

令和5年度 主要事業説明書

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
88	1	1	1	1	1547 保険事業勘定	11,977	11,354	0	623	407	0	0	10,947	0	・介護保健事業の必要事務費を支出。
88	1	2	1	1	1549 賦課徴収費	272	253	0	19	0	0	0	253	0	・介護保険料等に関する通知発送に係る経費を支出。
88	1	3	1	1	1550 介護認定審査会費	1,722	1,722	0	0	0	0	0	1,722	0	・鳥取県東部広域行政管理組合に対し、認定審査会に係る経費を負担。
88	1	3	2	1	1551 認定等調査費	2,733	2,543	0	190	0	0	0	2,543	0	・認定調査に係る経費の支出。
88	1	4	1	1	1552 趣旨普及費	16	0	0	16	0	0	0	0	0	・介護保険パンフレットの作成費を支出。 【不用額の主なもの】 ・制度等の大幅な変更がなかったため、未購入。
88	1	4	1	1	1937 計画策定委員会費	81	51	0	30	0	0	0	51	0	・計画策定における委員の報償費を支出。
89	2	1	1	1	1560 介護サービス等諸費	876,362	830,919	0	45,443	224,362	125,204	0	328,212	153,141	・要介護者の介護サービス給付費を支出。 受給者 4,137人/年 【不用額の主なもの】 ・給付費の実績減によるもの。
89	2	2	1	1	1561 介護予防サービス給付費	34,841	33,096	0	1,745	9,756	4,166	0	13,072	6,102	・要支援者の介護予防サービス給付費を支出。 受給者 1,106人/年
89	2	3	1	1	1554 審査支払手数料	1,344	1,271	0	73	367	166	0	501	237	・国保連合会に対し、介護サービス給付に関する審査支払手数料を支出。 審査件数 13,375件

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
89	2	3	2	1	1555 介護給付費請求 書電算処理シス テム料	305	279	0	26	0	0	0	278	1	・介護給付に関する共同処理手数料を支出。
89	2	4	1	1	1556 高額介護サービ ス費	20,121	19,173	0	948	5,669	2,396	0	7,572	3,536	・サービス利用費が一定の自己負担額を超えた認定者に対し、高額介護サービス費を支出。
89	2	6	1	1	1791 特定入所者介護 サービス費	35,855	35,088	0	767	10,375	4,386	0	13,859	6,468	・低所得者が施設サービスや短期入所サービスを利用した際の、食費、居住費の限度額を超えた額を支出。
89	2	6	2	1	1792 特例特定入所者 介護サービス費	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・実績なし
89	2	6	3	1	1793 特定入所者介護 予防サービス費	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・実績なし
89	2	6	4	1	1794 特例特定入所者 介護予防サービ ス費	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・実績なし
89	4	1	1	1	1760 介護給付費準備 基金積立金	100,073	100,073	0	0	0	0	0	0	100,073	・介護給付費準備基金の利息
90	5	1	1	1	2042 介護予防・生活 支援サービス事 業	15,358	12,427	0	2,931	3,674	1,553	0	4,908	2,292	・事業対象者及び要支援1・2の人が利用している訪問型・通所型サービスのサービス費を支出。 【不用額の主なもの】 ・サービス費の実績減によるもの。

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
90	5	1	2	1	2043 介護予防ケアマネジメント事業	6,877	6,620	0	257	1,957	827	0	2,614	1,222	・介護予防ケアマネジメント延べ158件実施。 ・介護予防ケアマネジメントを委託している居宅介護支援事業所への委託料と事務機賃借料の支出。
90	5	1	3	1	2049 高額介護予防サービス費相当事業	57	19	0	38	5	2	0	7	5	・事業対象者に対し、高額介護サービス費を支出。 【不用額の主なもの】 高額介護サービス費の実績減によるもの。
90	5	2	1	1	2037 一般介護予防事業評価事業	3,310	3,310	0	0	978	413	0	1,306	613	・高齢者実態調査（ニーズ調査）に係る委託料を支出。（調査対象者：2,428人）
90	5	2	1	1	2038 介護予防普及啓発事業	1,911	1,798	0	113	531	224	0	709	334	・介護予防のための教室開催（脳の健康教室4ヶ月1クール・12名参加、フレイル予防体操教室3ヶ月1クール・18名参加）と温水プール利用支援（延べ346人利用）に係る委託料の支出。
90	5	2	1	1	2040 地域リハビリテーション活動支援事業	3,404	3,314	0	90	979	414	0	1,308	613	・介護予防事業の実施。（元気にすてっぷフォロー教室7箇所 268回 延べ3,926人参加） ・いきいき百歳体操開催団体への指導（21ヶ所 延べ45回）、町民への個別指導（0回）、サービス事業所への指導（10回）、自立支援型地域ケア会議への出席等に関するリハビリテーション専門職等への報酬を支出。

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
90	5	3	4	1	1843 家族介護継続支援事業	1,259	952	0	307	366	183	0	183	220	・在宅介護を行う家族への支援に係る経費を支出。 ・在宅介護者の経済的負担の軽減のための介護用品クーポンの支給と、精神的負担の軽減のための介護者家族の集い開催(2回)。
90	5	3	4	1	1844 地域自立生活支援事業	2,056	1,628	0	428	626	313	0	313	376	・介護相談員の設置・活動に係る経費と配食サービスの実施に係る委託料の支出。
90	5	3	4	1	1893 介護給付等費用適正化事業	107	65	0	42	24	12	0	12	17	・給付が適正なものとなっているか利用状況を確認してもらうため、サービス利用者への給付明細書の郵送(年2回・延べ1,019人)に係る経費を支出。
90	5	3	4	1	1932 認知症サポーター養成事業	23	22	0	1	8	4	0	4	6	・講座開催に係る経費を支出。 ・認知症サポーターを28名養成。 ・認知症の普及啓発の一貫として継続実施が必要。
90	5	3	4	1	1942 家族介護支援事業	29	19	0	10	7	3	0	3	6	・適切な介護知識・技術の習得、仲間づくりのための介護者研修会の開催。(1回)
90	5	3	4	1	1943 成年後見制度利用支援事業	489	0	0	489	0	0	0	0	0	・制度利用に係る費用を助成。(申立費用0件)
90	5	3	4	1	2096 家庭内事故等対応整備事業	1	0	0	1	0	0	0	0	0	・独居高齢者等が安心して在宅生活を送れるよう、緊急通報装置を購入し、設置・貸与する。(設置者32名)
91	5	3	5	1	2044 在宅医療・介護連携推進事業	1,275	912	0	363	351	175	0	175	211	・鳥取県東部1市4町で連携し、情報共有や研修会の開催、住民へのPR活動を行うため、鳥取市への負担金を支出。

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
91	5	3	7	1	2046 認知症初期集中 支援推進事業	8,567	8,419	0	148	3,241	1,620	0	1,620	1,938	・フレイル予防の観点からも、今後とも 当事業は重要課題に位置づける。
91	5	3	7	1	2047 認知症地域支 援・ケア向上事 業	3,549	3,202	0	347	1,232	616	0	616	738	・認知症地域支援推進員（1名）を配置 し、専門的アドバイザーとも連携して介 護者家族の会や介護予防教室を開催する 経費のほか、認知症カフェ立ち上げ支援 のための補助金（1件）を支出。 今後も、支援体制の構築・取組の拡大が 必要。
91	5	3	8	1	2048 地域ケア会議推 進事業	15	0	0	15	0	0	0	0	0	・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続け ることができるよう、個別課題及び地域 課題の解決策を検討するための会議を開 催。 自立支援型地域ケア会議を年間22回開 催。会に出席する歯科医師や歯科衛生士 などの費用は県が負担。
91	5	4	1	1	2041 審査支払手数料	59	54	0	5	16	6	0	20	12	・国保連合会に対し、総合事業に関する 審査支払手数料を支出。
91	6	1	1	1	1886 指定介護予防支 援事業	3,793	3,698	0	95	0	0	0	3,698	0	・介護予防ケアプラン作成（延べ1,043 件） 給付管理に関する事務機賃借料、居宅介 護支援事業所への介護予防支援業務委託 料を支出。
92	7	1	1	1	1638 償還金利子及び 割引料	35,568	35,568	0	0	0	0	0	0	35,568	・R4年度実績に伴う国、県及び社会保険 診療報酬支払基金への償還金。
92	7	1	2	1	1649 第1号被保険者保 険料還付金	500	308	0	192	0	0	0	0	308	・死亡、転出等による過年度保険料の還 付。

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
92	7	2	1	1	2106 一般会計繰出金	13,669	12,711	0	958	3,010	0	0	8,719	982	・重層的支援体制整備事業（一般会計） で実施する5事業の財源として、第1号 被保険者保険料、第2号被保険者保険料 充当額を繰出。
92	8	1	1	1	1559 予備費	697	0	0	697	0	0	0	0	0	
合 計						1,188,278	1,130,868	0	57,410	267,941	142,683	0	405,225	315,019	

令和5年度 主要事業説明書

【介護保険サービス事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
98	2	2	2	1	1675 事業費	15,700	8,291	0	7,409	0	0	0	7,621	670	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設の維持修繕を実施。 修繕料が年々増加傾向にある。 【不用額の主なもの】 修繕料の実績減によるもの。
98	3	1	1	1	1774 元金	14,044	14,043	0	1	0	0	0	14,043	0	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり償還。
98	3	1	2	1	1775 利子	169	169	0	0	0	0	0	169	0	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり償還。
合 計						29,913	22,503	0	7,410	0	0	0	21,833	670	

令和5年度 主要事業説明書

【後期高齢者医療事業特別会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
105	1	1	1	1	1862 一般管理費	1,550	1,451	0	99	0	0	0	1,451	0	・後期高齢者医療事業の必要事務費を支出。
105	2	1	1	1	1865 後期高齢者医療 広域連合納付金	102,161	92,531	0	9,630	0	0	0	34,968	57,563	・制度運営に必要な受益者負担金部分を、後期高齢者医療広域連合へ納付。
105	3	1	1	1	1866 保険料還付金	1,000	268	0	732	0	0	0	0	268	・死亡、転出等による過年度保険料の還付。
105	3	1	2	1	1867 還付加算金	10	0	0	10	0	0	0	0	0	
合 計						104,721	94,250	0	10,471	0	0	0	36,419	57,831	

令和5年度 主要事業説明書

【簡易水道事業会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
16	簡易水道事業費用	営業費用	原水及び浄水費	1	原水及び浄水費	7,405	7,253	0	152	0	0	0	2,803	4,450	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の15簡易水道を適正に管理運営し、安心・安全な水の供給を行った。法適化のための業務を発注し、会計システムを導入した。
16	簡易水道事業費用	営業費用	配水及び給水費	1	配水及び給水費	53	34	0	19	0	0	0	0	34	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各簡易水道の維持管理に伴う公用車の燃料費用。
16	簡易水道事業費用	営業費用	総係費	1	総経費	1,357	1,328	0	29	0	0	1,100	31	197	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各簡易水道の水質検査等を行い、安心・安全な水の供給を行った。
16	簡易水道事業費用	営業費用	減価償却費	1	減価償却費	11,984	14,602	0	△ 2,618	0	0	0	0	14,602	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在までの資本投資してきた施設、機材等の減価償却費用。 ・公営企業会計移行初年度のため当初予算の見立てが甘く不足が生じたが、現金支出を伴わないため決算で調整。

令和5年度 主要事業説明書

【簡易水道事業会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
16	簡易水道事業費用	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1	支払利息及び企業債取扱諸費	50	50	0	0	0	0	0	50	0	【概要】 ・企業債利子の償還を行った。
18	資本的支出	企業債償還金	企業債償還金	1	企業債償還金	1,140	1,140	0	0	0	0	0	1,140	0	【概要】 ・企業債元金の償還を行った。
合 計						21,989	24,407	0	△ 2,418	0	0	1,100	4,024	19,283	

令和5年度 主要事業説明書

【公共下水道事業】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
18	下水道事業費用	営業費用	管渠費	1	管渠費	10,330	8,306	0	2,024	0	0	0	8,306	0	<p>【概要】</p> <p>・公共下水道事業の内、管路の維持管理に係る経費。</p>
18	下水道事業費用	営業費用	処理場費	1	処理場費	49,971	48,856	0	1,115	0	0	0	48,856	0	<p>【概要】</p> <p>・公共下水道事業の内、処理場の維持管理に係る経費。</p>
18	下水道事業費用	営業費用	総係費	1	総係費	21,437	21,106	0	331	0	0	0	21,106	0	<p>【概要】</p> <p>・公共下水道事業会計のうち、管渠費、処理場費に当てはまらない維持管理費、経費、人件費等。</p>
19	下水道事業費用	営業費用	減価償却費	1	減価償却費	121,975	119,423	0	2,552	0	0	0	119,423	0	<p>【概要】</p> <p>・現在までの資本投資してきた施設、機材等の減価償却費用。</p>

令和5年度 主要事業説明書

【公共下水道事業】

(単位：千円)

ページ	科目			事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
	款	項	目						繰越	国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
19	下水道事業費用	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1	支払利息及び企業債取扱諸費	17,430	17,427	0	3	0	0	0	17,427	0	【概要】 ・企業債利息。
19	下水道事業費用	営業外費用	雑支出	1	雑支出	30	5	0	25	0	0	0	5	0	【概要】 ・下水道使用料二重納付による還付金。
19	下水道事業費用	特別損失	その他特別損失	1	その他特別損失	6,857	3,878	0	2,979	0	0	0	3,878	0	【概要】 ・令和4年度分消費税、賞与引当金。
21	資本的支出	建設改良費	処理場建設改良費	1	処理場建設改良費	57,145	57,145	0	0	30,786	0	26,300	59	0	【概要】 ・智頭浄化センターエアレーション装置改築工事（長寿命化）、沈殿池汚泥掻寄機改築工事（長寿命化）、脱水機汚泥供給ポンプ取替修繕を行った。

令和5年度 主要事業説明書

【公共下水道事業】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
21	資本的支出	企業債償還金	建設企業債元金償還金	1	建設企業債元金償還金	146,812	146,812	0	0	0	0	0	146,812	0	【概要】 ・建設改良工事等の企業債償還金元金。
合計						431,987	422,958	0	9,029	30,786	0	26,300	365,872	0	

令和5年度 主要事業説明書

【農業集落排水事業】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
18	下水道事業費用	営業費用	管渠費	1	管渠費	20,635	17,400	0	3,235	0	0	0	17,400	0	<p>【概要】</p> <p>・農業集落排水事業の内、管路の維持管理に係る経費。</p>
18	下水道事業費用	営業費用	処理場費	1	処理場費	48,164	47,934	0	230	0	0	0	47,934	0	<p>【概要】</p> <p>・農業集落排水事業の内、処理場の維持管理に係る経費。</p>
18	下水道事業費用	営業費用	総係費	1	総係費	17,110	16,365	0	745	0	0	0	16,365	0	<p>【概要】</p> <p>・農業集落排水事業会計のうち、管渠費、処理場費に当てはまらない維持管理費、経費、人件費等。</p>
19	下水道事業費用	営業費用	減価償却費	1	減価償却費	128,881	129,409	0	△ 528	0	0	0	129,409	0	<p>【概要】</p> <p>・現在までの資本投資してきた施設、機材等の減価償却費用。</p>

令和5年度 主要事業説明書

【農業集落排水事業】

(単位：千円)

ページ	科目			事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
	款	項	目						繰越	国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
19	下水道事業費用	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1	支払利息及び企業債取扱諸費	21,834	21,811	0	23	0	0	0	21,811	0	【概要】 ・企業債利息。
19	下水道事業費用	営業外費用	雑支出	1	雑支出	30	0	0	30	0	0	0	0	0	【概要】 ・下水道使用料二重納付による還付金として計上していたが、今年度は支出が無かった。
19	下水道事業費用	特別損失	その他特別損失	1	その他特別損失	1,668	1,023	0	645	0	0	0	1,023	0	【概要】 ・R4年度分消費税、賞与引当金。
21	資本的支出	建設改良費	管路建設改良費	1	管路建設改良費	1,215	1,215	0	0	0	0	0	1,215	0	【概要】 ・県の事業である、県道津山智頭八東線改良工事に伴う上下水道管移設工事負担金の支出。

令和5年度 主要事業説明書

【農業集落排水事業】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
21	資本的支出	固定資産購入費	固定資産購入費	1	固定資産購入費	3,256	0	3,256	0	0	0	0	0	0	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦津1号マンホールポンプ場発電機購入に係る費用。R6年度に繰り越し。
21	資本的支出	企業債償還金	建設企業債元金償還金	1	建設企業債元金償還金	221,767	221,767	0	0	0	0	221,767	0	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設改良工事等の企業債償還金元金。 	
合 計						464,560	456,924	3,256	4,380	0	0	0	456,924	0	

令和5年度 主要事業説明書

【水道事業会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
18	水道事業費用	営業費用	原水及び浄水費	1	原水及び浄水費	14,501	11,403	0	3,098	0	0	0	0	11,403	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川伏流水・井水等を、ろ過、滅菌等により浄水し、飲料水を配水池へ送水する事を維持管理する。 <p>【特長等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査が値上がりしたため、手数料が昨年より増加している。また、電気代高騰の緩和措置があったため動力費が昨年より減少している。
18	水道事業費用	営業費用	配水及び給水費	1	配水及び給水費	8,101	1,442	0	6,659	0	0	0	0	1,442	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水池から供給された飲料水を、配水管・給水管を通して安定的に給水契約者に供給することを維持管理する。 <p>【特長等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より修繕に係る発注多かったため支出が増加となった。
19	水道事業費用	営業費用	総係費	1	総係費	25,544	24,363	0	1,181	0	0	11,888	12,475	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業会計のうち、原水及び送水費・配水及び給水費に当てはまらない維持管理費、経費、人件費等。 <p>【特長等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな委託は無かったが、今年度より水道課全職員（3名分）の給料及び手当を支払うこととなったため、支出が昨年より増加となった。 	
20	水道事業費用	営業費用	減価償却費	1	減価償却費	32,614	32,612	0	2	0	0	0	0	32,612	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在までの資本投資してきた施設、機材等の減価償却費用。

令和5年度 主要事業説明書

【水道事業会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
20	水道事業費用	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1	支払利息及び企業債取扱諸費	119	118	0	1	0	0	0	0	118	【概要】 ・企業債利息。
20	水道事業費用	営業外費用	長期前払消費税償却	1	長期前払消費税償却	681	680	0	1	0	0	0	0	680	【概要】 ・長期前払消費税の償却費用。
20	水道事業費用	営業外費用	雑支出	1	雑支出	100	23	0	77	0	0	0	0	23	【概要】 ・確定申告時の消費税支払いに伴う不足分費用等。
20	水道事業費用	特別損失	その他特別損失	1	その他特別損失	759	759	0	0	0	0	0	759	0	【概要】 ・今年度から水道課全職員（3名分）の給料及び手当を支払うことになったことに伴う、追加職員2名分のR5年度6月賞与分費用。（R5年度のみ）

令和5年度 主要事業説明書

【水道事業会計】

(単位：千円)

ページ	科目				事業名	予算額	決算額	繰越額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
	款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
20	水道事業費用	予備費	予備費	1	予備費	0	3,000	0	△ 3,000	0	0	0	0	3,000	【概要】 ・予算の充用は無かった。
22	資本的支出	建設改良費	営業設備費	1	営業設備費	410	409	0	1	0	0	0	0	409	【概要】 ・ポータブル濁度計の購入費用。
22	資本的支出	建設改良費	改良費	1	改良費	6,800	2,028	0	4,772	0	0	0	0	2,028	【概要】 ・建設改良工事、建設改良工事に伴う設計委託費及び調査委託料等。 【特長等】 ・県の事業である、県道津山智頭八東線改良工事に伴う上下水道管移設工事負担金の支出及び沖代水源地1号ろ過ポンプ交換工事を行った。
22	資本的支出	企業債償還金	企業債償還金	1	企業債償還金	2,949	2,949	0	0	0	0	0	0	2,949	【概要】 ・建設改良工事等の企業債償還金元金。
合 計						92,578	79,786	0	12,792	0	0	0	12,647	67,139	